



第60回夏期写真大学講座

一般社団法人 日本写真文化協会・教育訓練部

2023.8.7(月)ー8.9(水)



できるようにして帰す!! 半世紀分の技能伝授

※役に立つ技術を身に付けてお店に帰ってくること。

「基本と実践」
育成宣言

デジタル&インターネット時代が到来して30年。写真館は「上手く撮る」だけでは難しく、また、日々の需要も永遠ではなくなりつつあります。文協の夏期大は、半世紀にわたり写真館の次世代の育成に取り組んできました。大切にしてきたことは「基本と実践」。応用力を支える基本技能をより実践で活かせる力となる、育成プログラムづくりの試行錯誤を繰り返してきました。今回のカリキュラムは、その半世紀にわたり積み重ねた育成事業の資産に新たな要素を加えて編成したものです。後継者や従業員の育成をご検討のみなさまに、文協・教育訓練部は宣言します。「できるようにして帰す!!」

募集要項

▶実施講座とその主な内容

定員数()内は、最小実施人数 ※定員になり次第、締め切り。

基礎コース	基本的な知識・技術を習得	12(8)
撮影コース	新機軸を創出するプロの応用力	20(12)
成人振付撮影コース	成人専科で本流和装撮影と新たな感性	16(10)
学校写真コース	基礎知識・応用テクニック、座学と実習	20(10)

▶受講料(昼食・懇親会費用 7,000 円含む)

	会員及び 家族・従業員	会員以外の 一般参加	※1
基礎コース	57,000 円	87,000 円	
撮影コース			
成人振付撮影コース	67,000 円	97,000 円	※2
学校写真コース	57,000 円	87,000 円	

※1 = 「会員」とは、文協及び(協)日本写真館協会の会員を示します。

※2 = 成人振付撮影コースは、他コースの10,000円増しとなります。

▶宿泊について

コロナ禍によりサービス状況が変更することもあり、斡旋はいたしません。

最寄りのホテルは以下の通り。 ※いずれも旅行パック対象が否か未確認。

- ・アパホテル&リゾート〈西新宿五丁目駅タワー〉 03-5304-7011
- ・東急ステイ西新宿 03-3370-1090
- ・KNOT 03-3375-6511
- ・西鉄イン 03-3367-5454
- ・ローズガーデンホテル 03-3360-1533

なお、中野坂上駅下車すぐのイーストンホテルは廃業となりました。

▶会場 東京工芸大学(中野キャンパス)

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5

最寄駅〜地下鉄丸ノ内線・大江戸線
「中野坂上駅」下車、徒歩10〜15分

▶申込受付期間

2023年5月8日(月)〜7月10日(月)

※受付期間後のお申込は下記・事務局までお問い合わせ
ください。

▶コース中止 ※最小実施人数に満たない場合

2023年7月10日(月)に決定後、お申込者に順次連絡。

▶申込方法

別項「第60回文協夏期写真大学講座 受講申込書」に直
筆記入し、受講者別に「郵送」してください。電話やFAX
でのお申込はご遠慮ください。※複写記入可

▶郵送先及び問い合わせ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-7-12

一般社団法人 日本写真文化協会・夏期大係

TEL.03-3351-2463 FAX.03-3353-3315

Eメール info@sha-bunkyo.or.jp

▶お申込後の手続きについて

- ①申込書到着後、1週間ほどで「受付書」を発送します。
- ②受講料は受付書記載の期日までに郵便振替または
現金書留にてご送金ください。
- ③このパンフレットは当協会ホームページでもご覧に
なれます。https://sha-bunkyo.or.jp/college/

基礎コース	撮影コース
<ねらいと対象> 写真館に必要な基礎的技術・知識の習得を目指します。初日から2日目前半まで東京工芸大教授の上田耕一郎氏の基礎的な技術知識、そしてそれを活かしたスタジオ撮影の実習を行います。2日目の後半からは、重岡富美雄氏と林隆昌氏が、日常の接客・応対方法、スタジオと屋外での撮影実習を指導します。最終日はPCルームにて東京工芸大助教の川島崇志氏が撮影データの基本的な取り扱い方法、最適プリントの実習を行います。 <修得する項目> デジタル機器・メディア・ソフトウェアの学習。時代に合った証明写真撮影、屋内外撮影、Photoshop基本実習、画像補整と最適出力、応対・接客演習。	<ねらいと対象> 商品という"かたち"になってはじめて価値が生まれる撮影技術。ここでは、中堅技能者を対象に様々な環境、対象、条件下で創るプロセス、目的に合った撮影技術、製作方法の修得を目指します。初日は森藤ヒサシ氏によるビジネス用途の「ブランディング・ポートレート」、2日目はアイドル写真集で知られる河野英喜氏の「成人式」をテーマにした写真集の制作を体験。最終日は松山真彦氏の家族&子供写真撮影を学びます。 <修得する技能> 商品企画・製作プロセス、着想とイメージ(ラフ)の構築、マネジメント、宣伝方法など、撮影イメージづくりとプロモーション方法を学ぶ。
成人振付撮影コース	学校写真コース
<ねらいと対象> 女性の8割が振袖で参加するといわれる成人式に絞り、格調高い本格的な和装振付、撮影の修得を目指します。付加価値の高い和装写真は、かける言葉、着崩れ直し一つで写真館の「格」が伝わる。佐藤孝子氏による着物文化の講義、伊勢丹写真室の「和装振付」の基本と応用を加藤敏夫氏が実演&反復指導。またZ世代から20代、30代の女性層に人気の河村優子氏が、いまホットな展開で人気のアレンジ&撮影の実習指導します。最終日には認定試験を実施します。 <修得する技能> 和装文化と着装の進化、振付様々な「写真館と着物業界」、美しい成人和装振付と撮影方法、モダン成人kimonoアレンジメント&コーディネート方法、認定証発行。	<ねらいと対象> 写真館にアドバンテージを持たせるための必要な経営と技能のAからZまでを伝授します。全国の各セミナーで著名な3人の講師陣を集結し、この3日間「ここでしか話せない斬新な魅力ある内容」で学校写真を通して、地域に貢献できるリーダーの育成を目指します。隈川英孝氏の「実践営業戦略と時短撮影術」。伊東一平氏からは「スナップ撮影術」の講義と撮影実習。そして、藤井大輔氏の学校写真の基礎知識と関連法の講義。最終日には認定試験を実施します。 <修得する技能> 学校写真の基礎知識と関連法の理解、営業戦略、少数精鋭での撮影およびデータマネジメント、個人写真・スナップ写真・集合写真の撮影テクニック、認定証発行。

夏期大受講生だけの「3つの特典」

①受講生に「修了証書」の授与

夏期写真大学講座は東京都職業認定訓練校として認定され、選択コースの全日程カリキュラムを修了した受講生には「修了証書」を閉講式で授与します。

②2つのコースで「認定証」の授与

「成人振付撮影コース」と「学校写真コース」の2コースでは、専門的な技能修得の課程を終えた受講生を対象に最終日に「認定試験」を実施。合格者に後日、「認定証」を送付します。

③オプション・ツアー(伊勢丹写真室見学) ※全コース対象で実施。8月8日(火)18:00~

第2日目の8月8日(火)講座終了後、加藤敏夫講師の帯同により、新宿・伊勢丹写真室の見学会を実施します。これはめったにないチャンスです。ただし、希望者多数の場合は「成人振付撮影コース」優先での参加となります。



左端は「修了証書」。「成人振付撮影コース」「学校写真コース」の認定試験合格者には「認定証」(中・右見本)を授与。



見学の様子
(2017年8月)

夏期大で生まれた交流の輪は、閉講しても続きます。

夏期大は全日程を終了したら終わりではありません。この貴重な2泊3日、共に学んだ仲間間でネットワークが生まれ、定期的に交流しながら、仕事のことはもちろん、様々な情報交換をしています。これが宝となっています。

懇親会の様子
(2019年8月)



一般社団法人 日本写真文化協会
第60回夏期写真大学講座

講師の紹介

(敬称略)

 吉田 成 (よしだ あきら) 日本大学大学院芸術学研究科修了(芸術学修士)。東京大学史料編纂所に約20年間勤務。同大学在職中に文化庁派遣芸術家在外研修員として米国ジョージ・イーストマン美術館にて写真の保存・修復を研修。東京工芸大学芸術学部写真学科助教授、准教授、教授を経て現在同大学名誉教授。	  上田 耕一郎 (うへだ こういちろう) 東京工芸大卒、同大学芸術学部写真学科教授。専攻分野は写真制作・肖像写真。論文に「写真雑誌に見る表現の変遷—アマチュアは何を写してきたのか」、企画展「佐渡の記憶」(新潟市美術館市民ギャラリー)、「東京散策」(フレームマン・ギンザ・サロン)。
 川島 崇志 (かわしま たかし) 85年宮城県生まれ。東京工芸大学大学院芸術学研究科メディアアート専攻写真領域修了。写真作家、コマーシャルフォトグラファーとして活動している。展覧会・受賞歴多数。様々な広告制作にも携わる。東京工芸大学芸術学部写真学科助教授。 	 重岡 富美雄 (しげおか ふみお) 福岡大学経済学部卒、5年間のサラリーマンを経てカメラ操作、写真撮影未経験で(有)もとまつ写真場に入社。その後、写真館仲間のサポートがあり今まで仕事を続けている。(一社)日本写真文化協会常任理事、九州写真師会連盟委員長。 
  林 隆昌 (はやし たかまさ) 中日新聞本社写真部を経て家業である林写真室に入店後(有)スタジオイマージュを設立。(協)日本写真館協会副理事長・教育事業部管掌、(一社)日本写真文化協会理事、各種コンテスト入賞多数、岐阜女子大学文化創造学科講師。 Instagram	  河野 英喜 (こうの ひでき) 撮影は独学で習得。人物撮影を中心に広告・エディトリアル他多媒体で活動。近年女優や俳優、各界のアーティストなどの撮影にも力を入れており、各誌表紙・口絵、その他写真集書籍なども多数手掛ける。講演・ワークショップなども幅広く活動。
 森藤 ヒサシ (もりふじ ひさし) (株)小写真写真館代表取締役。(有)プリス代表、68年生まれ。日大芸術学部写真学科卒業後、ササキスタジオに2年間勤務の後、95年ブルックス写真大学卒業後帰国。富士フィルム営業写真コンテスト金賞他、受賞歴多数。「家族写真の魔法」出版。15年森藤ヒサシに改名。 	 松山 真彦 (まつやま まさひこ) 73年生まれ、流通経済大学、日本写真芸術専門学校卒業。松山写真(株)代表取締役。富士フィルム営業写真コンテストで銀賞ほか、東海四県写真館連合会コンテスト・グランプリ、静岡県写真館協会コンテスト・グランプリ、静岡県知事賞など受賞多数。 
  佐藤 孝子 (さとう たかこ) (一社)全国和裁着装団体連合会会長、中央技能検定委員(和裁制作業)、(一社)全日本着付けセンター 理事・検定委員、職業訓練法人匠きもの短期大学校長。国家検定和裁一級技能士および、着付け一級技能士、卓越技能者「現代の名工」、黄綬褒章受章。	  加藤 敏夫 (かとう としお) 60年(株)光潮社入社。伊勢丹写真室取締役撮影部長などを歴任、長年の経験と研鑽に基づき、同写真室の基本を引き継ぎつつ被写体に応じて魅力的写真を撮影するスタイルを構築して貢献。数々の営業写真コンテストなどで入賞多数。現在、(株)光潮社顧問。
 河村 優子 (かわむら ゆうこ) 東京都八王子市生まれ。(有)スタジオカワムラ代表取締役社長。短大卒業後、日本写真学園入学と共に夜間はメイキャップ学校で美容を学ぶ。後に(有)写真の川地での修行を経て(有)スタジオカワムラ入社。現在スタジオと美容室を経営、撮影・美容・着付の技術を磨く。 	 隈川 英孝 (くまかわ ひでたか) 67年生まれ。1級写真技能士。帝京大学文学部社会学科・社会心理学専攻卒業後(株)隈川写真館へ。(協)日本写真館協会専務理事、(一社)日本写真文化協会常任理事、関東写真館協会会長。学校写真40校超、残業ほぼ0時間、原則7時間労働/1日。 
  伊東 一平 (いとう いっぺい) 67年生まれ。伊東写真館代表、明治大学政治経済学部経済学科卒業、(一社)日本写真文化協会理事、(協)日本写真館協会法務学校事業部委員長、講演会&ワークショップ経験多数。こだわりの「学校スナップ」を实践、写真コンテスト入賞多数。	  藤井 大輔 (ふじい だいすけ) WEBデザイナー・ディレクターを経て、上場企業でシステム開発、大手企業とのアライアンスサービス他、営業企画や事業企画全般を12年間担当。2012年より(有)セントラルスタジオ勤務、(協)日本写真館協会・法務学校事業部副委員長、個人情報保護士。

協力団体および会社一覧

(順不同)

 東京工芸大学 	  プロショップ東映堂
 (株)ウイスタ WISTA	(株)ニコンイメージングジャパン  
キヤノンマーケティング ジャパン(株)  	ハーレー(株)   ハーレー株式会社
 コメット(株) COMET	富士フィルムイメージング システムズ(株)  
ソニーマーケティング(株) SONY 	(株)プロカラーラボ イーストラボ  

- ▶ 開講式・基調講演 東京工芸大名誉教授・吉田成氏「社会的及び文化的見地による写真の歴史」を語る。写真保存と修復なども言及。
▶ 閉講式・修了証書授与式 終了予定時刻は16:30です。

		9:00		9:30		10:00		10:40		12:20		13:00		15:00		17:00		17:30		18:00		18:30	
基礎	8月7日(月)			受付	開講式	基調講演	昼食	上田耕一郎								準備	懇親会(合同)						
	8月8日(火)	上田耕一郎						重岡富美雄・林隆昌								準備	オブショナル						
	8月9日(水)	川島崇志						川島崇志				15:30 閉講式											
撮影	8月7日(月)			受付	開講式	基調講演		森藤ヒサシ								準備	懇親会(合同)						
	8月8日(火)	河野英喜						河野英喜								準備	オブショナル						
	8月9日(水)	松山真彦						松山真彦				15:30 閉講式											
成人振付撮影	8月7日(月)			受付	開講式	基調講演		佐藤孝子				15:00 加藤敏夫				準備	懇親会(合同)						
	8月8日(火)	加藤敏夫						加藤敏夫								準備	オブショナル						
	8月9日(水)	河村優子						河村優子		認定試験	15:30 閉講式		※「認定試験」は筆記形式30分間										
学校写真	8月7日(月)			受付	開講式	基調講演		藤井大輔・隈川英孝								準備	懇親会(合同)						
	8月8日(火)	伊東一平						伊東一平								準備	オブショナル						
	8月9日(水)	隈川英孝・伊東一平・藤井大輔						同左講師		認定試験	15:30 閉講式		※「認定試験」は筆記形式30分間										

「目的を持って参加する」ともっと身に付く！夏期大

参加ご検討の際に大切なのは受講者が「目的を持って参加すること。全4コースそれぞれで修得できる技能や知識は数え切れません。以下の事例をご参考になさってください。

■基礎コース 光と色、色温度、色混合、カメラの基礎知識と上手な使い方。スタジオライティングの基本と応用。これを活かした証明写真とアウトドア撮影の実習。撮影データを最適なプリントに仕上げる。

■撮影コース 商品企画から製品化、マネジメントと告知の方法。

■成人振付撮影コース 着物の歴史、それを着る機会、そのT.P.Oや礼儀作法など、基本的知識の大切さ。成人振付の美的ポイント、着崩れ直し、本格成人振付撮影のノウハウ。

■学校写真コース 学校写真の基礎・関連法の理解、営業戦略、個人写真・スナップ写真・集合写真の撮影テクニック。

技能検定にも役立つ夏期大

写真技能を対象とした国家検定制度には「技能検定」があります。今回の夏期大より、各コースの対象、カリキュラムの難易度の基準を「技能検定」に合わせて実施します。

「基礎コース」は技能検定3級レベル、「撮影コース」および「成人振付撮影コース」「学校写真コース」は1・2級レベルを目安としています。夏期大は技能検定を受検予定の方にとっても役立ちます。



昼食の様子(2018年)

切り取り線

2023 年 月 日		第60回 文協夏期写真大学講座 受講申込書				※必ず自筆ですべての欄に記入してください		
受講講座名 (○で囲む)		1. 基礎コース 2. 撮影コース 3. 成人振付撮影コース 4. 学校写真コース					撮影経験年数 年	
フリガナ		性 別		年 齢		最終学歴 (○で囲む) [中学・高校・専門・短大・大学・その他] 卒業		
受講者氏名 (自 筆)		男 ・ 女		左記事業主は文協または (協) 日本写真館協会の 会員である ・ 会員ではない (○で囲む) 会員ではない場合は所属団体名				
所属写真館(ゴム印不可)	名 称			雇用保険にご加入の方は、被保険者番号をご記入ください。ご不明の際はお問い合わせください。 □□□□-□□□□□□-□				
	事業主氏名							
	所在地 〒 — —			(あなたの) 勤めている会社の従業員数 名 (あなたの) 定休日 ご連絡の際に参考にします。				
	TEL () / FAX ()							
E メール(連絡用)								
(郵便物等の送付先・勤務先が上記と異なる場合のみご記入ください) 〒 — —								

※最終学歴・被保険者番号・従業員数は、東京都の助成金申請に必要になりますので、記入モレのないようお願いします。
なお、受講申込書に記入された個人のプライバシーに関する部分を個票レベルで外部に公表することは一切ありません。